



ひまわり通信

日本共産党控室
市川市八幡1-1-1
334-1111 (18219)

日本共産党
市川市議員 **ひろた徳子**



2021.6.6 NO70

「市民アンケート」にご協力を

お願いいたします

毎年ご協力いただいている市民アンケートですが、今年は少し早いのではないかと質問がありました。市役所では、毎年8月ごろ来年度の新規事業や予算の策定に入ります。アンケートの回答から、市に改善を求める内容を要望書にして提出しています。そのため、少しづつ早めに行っています。

お手元にアンケート用紙がありましたら、どんなことでも結構ですので記入いただき、返信用の封筒に切手を貼らず、投函してください。今年のアンケート用紙には、昨年の要望で改善できたものを紹介しています。

健康で文化的に暮らしましょう

5月9日、市川生活と健康を守る会（以後市川生健会）が発足しました。生健会では、「なんでも相談会」を行います。税金、国民健康保険、コロナ、医療、介護、教育、住まいのことなどのお困りごとのご相談をお受けいたします。

日・時 6月26日（土） 14時～16時
場・所 行徳センター
予約制ですので、ご連絡ください
連絡先 0901995819209 廣田

妙典駅から本八幡行きのバス路線新設(妙典橋経由)



これまで、妙典地域から本八幡に行くには、西船橋でJRに乗り換えなくてはなりませんでしたが、5月16日から妙典駅と本八幡駅を結ぶバス路線が開通しました。平日は6往復、土日休日は3往復ですが、これまでより便利になり、駅の階段が苦痛の方にも吉報です。江戸川の放水路にかかる妙典橋は開通して2年2カ月たちます。妙典橋から市川・本八幡が、東西線の向こう側に望めます。（写真）橋からの眺めは最高です。バスは原木中山、田尻、文化会館を経由して本八幡に到着。約30分の道のりです。

「み出しのルール」守っていますか？

5月21日、市内清掃業者と市の担当課の懇談会に参加しました。4月から燃やすごみの収集が週3回になりましたが、「ごみの分別が、ルール通り行われていない」と清掃業者の方から指摘がありました。私に住んでいるマンションでは、誰でも一目見れば、分別や出し方がわかるように絵で掲示されています。ルールを守って出せば事業者側の負担も減り、働き方改革にもなります。使用済みのマスクも少し気を付けて出すことも必要です。

無料法律相談

次回7月13日（火）午後2時より
市役所 6F共産党控室にて

1人30分、事前予約が必要です。
334-1111 内線18219
までお電話ください。

「教育総合展」東京ビックサイトで開かれる

5月12日～14日



国が進めている「GIGAスクール構想」*ソサエティ5.0の時代を生きる子どもたちのために「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる施策）がコロナ禍で急加速しています。今年度中には、市川市でもタブレットが小中学生に配られる予定です。ペーパーレスが進めば、先生方の働き方改革にもなると言いますが、そこに至るまでの過程が大変です。

教育はすべての子どもたちが、平等に受ける権利があります。わからない、出来ないままにしない、ゆき届いた教育であってほしいと思います。

*ソサエティ5.0とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させた「超スマート社会」を実現させるための一連の取り組みのこと

オリンピック・パラリンピックの開催を考える

ひまわり通信をご覧のみなさん、こんにちは浅野ふみ子です。いつも大変お世話になっております。

新型コロナウイルスのワクチン接種の予約が始まりました。とはいえ、年代別指定の日時に各人がインターネットにアクセスして予約をとる方式に、戸惑いが広がっています。「娘にやつてもらった」という方もいらっしゃいますが、予約ができずに困っている方はお気軽に日本共産党にご相談ください。

先日、しんぶん赤旗日曜版が、オリンピック・パラリンピック競技観戦に全国で128万人の子どものために「動員」する事業が、コロナ禍以前の計画をそのまま実施しようとしていることをスクープしました。千葉県内では10万5千人、市川市内では11校1652人が観戦する計画です。交通手段はそれぞれの学校が決め、競技によって開始は朝8時半、終了は夜10時という時もあり、感染のリスクを避けるために食事の時間はとらない。選手は事前キャンプを含めて滞在中は毎日PCR検査を受けるが、子どもたちは検査無し。変異株の低年齢層への感染や重症化の恐れが指摘されているも、果たして子どもたちは安全なのだろうか、との疑問と共に怒りさえも感じます。

国際オリンピック委員会(IOC)のコーツ副会長が「緊急事態宣言下でも五輪開催は可能」と表明し、同委員会のバツハ会長の「五輪開催の夢を実現するためには誰もがいくらかの犠牲を払わないといけない」とする発言が大変な怒りを広げています。「安心安全なオリンピック」は、この夏の開催は不可能です。今すぐにオリンピック・パラリンピックは中止と決断し、すべての力をコロナ対策に振り向けるべきです。



日本共産党は政府に対して、東京五輪の中止とともに、ワクチンの安全・迅速な接種、大規模検査、十分な補償と生活支援、医療機関の減収補填を政府に求めました(5月20日)。千葉県知事へ、オリンピック・パラリンピック大会競技観戦支援事業の中止を求める緊急申し入れを行いました(5月24日)。引き続き、命と暮らしを守るために、全力をあげます。ご支持ご支援を心よりお願い申し上げます。

ひとりごと：65歳以上の唾液によるPCR検査の時も今回のワクチン接種でも市民の混乱は避けられませんでした。市の対応、計画性のなさには市民は不満爆発です。公民館でのワクチン予約は、通常業務の妨げになる場面も見受けられました。その反面、コロナで海外旅行に行けないため、妙典のイオン内にできたパスポルトセンターは、ガラガラ。

まん延防止等重点措置の再延長。駅で宣伝していると「給料が5万円カットされた、もう一度定額給付金を」と切実な声がありました。それでもオリンピックは、行うのでしょうか。



行徳駅で浅野候補・沼上候補とともに宣伝